



Travelogue

海の無い街に住んでいると、時折り波を見たくなる。

2時間ばかりクルマを走らせたのは、そんな理由から。



どこまでが空で、どこからが海なのか

どこまでが青で、どこからが緑なのか



潮は満ちているのか

沖へ帰ろうとしているのか



波は寄せているのか
引き波が邪魔をしているのか



海鳥は、どうして右から左へと飛ぶのか

その答えを知って、どうするのか



潮風に吹き付けられて、結晶化した塩

窓の向こうが海の世界



機械仕掛けの花が、同じ動作を繰り返す

枯れる事の無い花 でもいつかは壊れる

永遠なんてものは ただの妄想



日没までの、あとひと時

何をして 何を見て 何を忘れよう



書店の袋に、入れっぱなしにしてあった本

旅行鞆の隙間に、丁度いい薄さだった

何を忘れようか、、、



夜

波と風の音しかしない夜

ガラスの向こうに、漆黒しか無い夜

星も見えない夜



ホテルの朝は、遮光カーテンの後ろに隠れている

光が隙間を覗き込んでいる

たしか インスタントコーヒーが置いてあったはずだ



淡いもやが水平線を隠す

真実は曖昧さに隠蔽されるものだから



波が砂をさらうのか
波が砂を残して行くのか

海はかわらず 答えは わからない



山に棲む鳥

海の近くで 海に背を向けて



波に残された石

小さな渦流と流路のあと

一晩の波の記録



海に来た人

波打ち際を 遠く離れて



海から還る人

海に生きて





冬のリゾートは人影が少なくて

音の無い映画をみているよう

ああ僕は、傍観しているんだ



帰ろう

2時間の向こうに 日常が待っている

真下魚名の既刊

写真集

「Hina」	http://p.booklog.jp/book/83499
「空と雪と、京都の路地は奥に深いです itu」	http://p.booklog.jp/book/82880
「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」	http://p.booklog.jp/book/82643
「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」	http://p.booklog.jp/book/82160
「からくれないに ni」	http://p.booklog.jp/book/81713
「bleu, jaune, vermillon」	http://p.booklog.jp/book/81111
「H.45」	http://p.booklog.jp/book/80229
「Fly me to Paris I～XIV」	
「祇王 こけのころも」	http://p.booklog.jp/book/74864
「空と雨と6月と」	http://p.booklog.jp/book/74060

小説

「ネガティブズ2」	
「ネガティブズ」	http://p.booklog.jp/book/73051

写真集「空と僕と自転車とni」	http://p.booklog.jp/book/72996
写真集「空と僕と自転車と」	http://p.booklog.jp/book/72092
写真集「空と椿と木蓮と、そして花水木」	http://p.booklog.jp/book/71344
写真集「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」	http://p.booklog.jp/book/70700
写真集「空と雲と、ときどき春の野を行く」	http://p.booklog.jp/book/70137
写真集「空と月と、夜桜デート」	http://p.booklog.jp/book/69415
写真集「空と木と、ときどきの梅暦」	http://p.booklog.jp/book/68722
写真集「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」	http://p.booklog.jp/book/65536
写真集「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」	http://p.booklog.jp/book/64153
写真集「空と木とたまに月」	http://p.booklog.jp/book/62540
写真集「からくれないに」	http://p.booklog.jp/book/61473
写真集「空と雲と、ときどき月」	http://p.booklog.jp/book/36294
写真集「夢みる桜」	http://p.booklog.jp/book/45286

「黄金の麦畑」	
1.Largo	http://p.booklog.jp/book/58662
第1回 ～ 第41回	

「黄昏の王国」	
イーリアス編	http://p.booklog.jp/book/49612
アリシア編	http://p.booklog.jp/book/51254

一 僕カノシリーズ 一

「僕が彼女に殺された理由（わけ）」	http://p.booklog.jp/book/31906
「僕と彼女の選択の事由（わけ）」	http://p.booklog.jp/book/35498
「僕と彼女はそれしか答えを見つけれなかった」	http://p.booklog.jp/book/36101
「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」	http://p.booklog.jp/book/36617
「僕と彼女と複雑な関係者たち」	http://p.booklog.jp/book/37238
「僕と彼女と単純な関係式」	http://p.booklog.jp/book/37731
「僕と彼女と校庭で」	http://p.booklog.jp/book/38409
「僕と彼女と校庭で 夏」	http://p.booklog.jp/book/38977
「僕と彼女のアリア」	http://p.booklog.jp/book/46524
「僕と彼女のインベンション」（次回）	

一 その他 一

傘がない	http://p.booklog.jp/book/69798
夕暮れの赤ちょうちん	http://p.booklog.jp/book/42024

いもうと <http://p.booklog.jp/book/40794>
サマータイム・ブルーズ <http://p.booklog.jp/book/34054>
危険なドライビングマジック <http://p.booklog.jp/book/33630>
デフラグメント <http://p.booklog.jp/book/33116>
インフルエンス あのころの僕たち <http://p.booklog.jp/book/32752>
花舞い、名残り雪 <http://p.booklog.jp/book/32187>

詞画集「ただ憧憬だけを」 <http://p.booklog.jp/book/34472>
画集 「彼と彼女の表紙画集」 <http://p.booklog.jp/book/39345>